

刈谷

愛産大三河

豊田大谷

豊橋中央

全三河高校野球 4強決定

中日旗争奪全三河高校野球大会（県高野連三河支部主催、中日新聞社共催）の二回戦四試合が二十三日、刈谷球場と豊橋市民球場であり、ベスト4が出そろった。

刈谷球場の第一試合は、刈谷が安城に8-1でコールド勝ち。一回に深谷選手が適時打で先制した後も得

▽二回戦
刈谷球場
刈谷 1010051 18
安城 0000100 18
（七回コールドゲーム）

（刈）伊串、遠藤、深谷
（安）大沢、神谷、大野
愛産大三河 100000034 38
豊橋中央 0000110000
（愛）前田、松原、白井、山田
（豊）永井、伊藤、白須、藤山

点を重ねた。第二試合は愛産大三河が豊川に8-3で勝利。八回に代打矢野選手の適時三塁打で逆転し、九

◇豊橋市民球場
岡崎工科 000000200 52
豊田大谷 100000103x 52
（岡）大久保、浜口、稲吉、河野、永井、小林
（豊）三浦貴、松尾、相良、岡林、内藤

知立 000200010 13
豊橋中央 010000000 13
（豊）本間、片岡、山口、青山、岡部

回にも4点を加えた。

豊橋市民球場の第一試合は、豊田大谷が岡崎工科を5-2で下した。同点の八回、村松選手の二塁打を足がかりに3点を奪い、三投手の継投で逃げ切った。第二試合は、豊橋中央が知立東との接戦を3-1で制した。中盤に連打でチャンスをつくり、犠飛や適時打でリードを奪った。八回には星野選手の本塁打で追加点をあげた。

二十九日に豊田市運動公園野球場で行われる準決勝で、刈谷と豊橋中央、豊田大谷と愛産大三河がそれぞれ対戦する。三十日に同球場で決勝と三位決定戦がある。

頼れる扇の要「冷静に」

刈谷は、扇の要の深谷翼捕手（三年）が攻守にわたる活躍で勝利をたぐり寄せた。

五回、先発の伊串宥輝投手（同）が死球などで崩れかけた場面で相手の二盗を刺し、安城のチャンス

刈谷・深谷捕手

攻 5打点の活躍
守 五回二盗刺す

の芽を摘んだ。試合を通じ、カウントがボール先行になると、審判にタイムを要求し一目散にマウンドに駆け付ける姿が目立った。

「ベンチも含めて自分が一番冷静でいなければいけないと思って」と深谷捕手。伊串投手は「『間が悪いな』と感じる時にマウンドに来てくれる」と気遣いに感謝する。

打っては一回の先制適時打を含む5打点。六回には自身の適時二塁打などで、チームは一挙5得点し、試合の流れを決定づけた。前田英伸監督は「今日は攻守共にラッキーボーイの深谷が頑張ってくれた」とたたえた。深谷捕手は「目標は甲子園に行くこと」とさらなる高みを見据えた。



ピンチの場面で仲間に声をかける深谷捕手。刈谷球場で